

1. 次の英文を和訳せよ。

Economic policymaking generates conflicts in different dimensions: among different groups of voters, among different groups of politicians, and between voters and politicians. (中略)

Markets generate conflicts of interest between consumers and producers over price and product quality and among different producers over profit. How these are then resolved depends on market institutions. Equilibrium prices, qualities, and profits hinge on regulations determining the barriers to entry and the scope for competition among producers. They also hinge on legislation determining how easily consumers can hold producers accountable for bad product quality or collusive pricing behavior. The literature on political institutions and economic policy offers a similar idea.

(Torsten Persson and Guido Tabellini, 2005, “The Economic Effects of Constitutions” MIT Press, p.11.)

2. 資本と労働を生産要素として用いて1つの財（私的財）を生産し、その財を完全競争市場において販売することにより収入を得る企業があるとする。この財の生産量を Y 、資本の投入量を K 、労働の投入量をとって、この企業の生産関数がコブ＝ダグラス型で、

$$Y = K^{\frac{1}{3}} L^{\frac{2}{3}}$$

と表されるとする。いま、労働を1単位投入するのに対して企業が支払う賃金率が w であり、資本を1単位投入するのに対して企業が支払うレンタル料（利子率）が r であるとする。この生産した財の価格を p と表すとする。以上の全ての変数は、負の値をとることはない。

この企業が利潤最大化行動をとるとき、下記の(1)～(7)について答えよ。

※注意：答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと（きれいに書いていなくてもよい）。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。

- (1) この企業の利潤（ π ）を数式で表せ。
- (2) 資本の限界生産性（限界生産力）はいくらになるか、数式で表せ。
- (3) 労働投入量が増えると資本の限界生産性はどうか、その理由も付して答えよ。
- (4) 労働分配率（ $=\frac{wL}{pY}$ ）はいくらになるかを答えよ。
- (5) 企業の利潤最大化条件を満たすとき、労働と資本の要素価格比（ $\frac{w}{r}$ ）と資本労働比率（ $\frac{K}{L}$ ）の関係はどのようになるか、数式で表せ。
- (6) 資本投入量を変えられない短期において、生産した財の価格は変わらないが、労働と資本の要素価格比だけが2倍になったとする。このとき、利潤最大化条件を満たすように労働投入量を調整できたならば、労働投入量はどのくらい変化するか。

(7) いま、従前に比べて、資本投入量を3%、労働投入量を6%増やしたとすると、生産量はどのくらい変化するか。

3. 次のマクロ経済学に関する①～⑤の記述について、正しい場合は○、間違っている場合には×をつけて答えよ。また、誤っている×の記述について、その理由を簡単に答えよ。

- ① ケインズ型消費関数が成り立つ状況では、国民所得が増加すると平均消費性向は上昇する。
- ② IS曲線は、貯蓄と投資が等しくなるような財市場の均衡を意味するものである。
- ③ 貨幣需要が利子率の変化に対してあまり反応しないとき、LM曲線の傾きはより緩やかになる。
- ④ IS-LMモデルにおいて、政府支出のクラウディング・アウト効果によって、政府支出の増加が民間投資を（政府支出の増加額の）100%以上減少させることがある。
- ⑤ IS-LMモデルにおいて、同額の政府支出増加によるGDPへの効果をみると、限界消費性向が上昇すると、上昇前と比べてGDPをより大きく増やす。

4. <この問題は、時間に余裕がある場合に限り解答してもよい；解答しないからといって減点にはしない>

次のマクロ経済学やミクロ経済学に関する(1)～(5)の問いについて答えよ。

- (1) 国内総生産（GDP）と国民総生産（GNP）の差額は何によるものか、両者の概念的な違いを踏まえて答えよ。
- (2) 投資の利子弾力性とは何か、その定義を答えよ。
- (3) 短期と長期の消費関数の違いについて説明せよ。
- (4) パレート最適とは何か、その定義を答えよ。
- (5) 財Aと財Bの2つの上級財（正常財）があって、両者は代替財であるが、完全代替ではないとする。いま、財Aの価格が上昇したとする。このとき、財Bに与える所得効果と代替効果は、財Bの消費量をどのように変化させるか、その理由も付して答えよ（図を用いて説明してもよい）。